

平成22年度大学院講義 新国際基盤生命学特論2  
グローバルCOE「生体シグナルを基盤とする統合生命学」

以下のように集中講義形式で開講します。単位を必用とする人は、最低2つのコースを受講して、レポートを提出してください。

**コース 1**

10月5日(火) 12:00 - 13:30

医学部教育研究棟 2階セミナー室 1・2 (担当: 岡部繁男)

**Contribution of Glial Cells to Synaptic Plasticity**

Stéphane H. R. Oliet

(Neurocentre Magendie, Inserm U862 and University of Bordeaux, France)

**コース 2**

10月25日(月) 14:00 - 17:00

東京大学分子細胞生物学研究所 IML棟 3階大会議室 (担当: 渡邊嘉典)

**Chromosome condensation: compacting the eukaryotic genome**

Frank Uhlmann

(Cancer Research UK London Research Institute, London, UK)

**The Smc5/6 complex - resolving topological tension during replication**

Camilla Sjögren (Karolinska Institute, Stockholm, Sweden)

**コース 3**

11月26日(金) 14:00 - 15:30

理学部 2号館 4F 講堂 (担当: 山本正幸)

**The fetal origins of sexual dimorphism in the mammalian germline**

David C. Page (Whitehead Institute/ MIT, Director and Professor)

**コース 4**

12月を予定しているが実施するかどうかも含めて調整中。

履修届: Web上(学務システム)から履修登録してください。

成績評価: 出席と2つのコースに対するレポートにより判定します。

レポート課題: 講演の要点と感想をA4レポート一枚にまとめる。

提出期限: 各コース終了後2週間以内。

提出先: 題名「新国際基盤生命学特論2(講師名)」としてメールで下記宛先へ。

gCOE 講義係 <gcoe\_lec@biol.s.u-tokyo.ac.jp> (3日以内に返信がなければ再度確認のこと。)

レポート担当教員: 柳澤 春明 生物科学専攻分子生理学研究室 (内線 24427)

責任者: 渡邊嘉典 (分子細胞生物学研究所) ywatanab@iam.u-tokyo.ac.jp (内線 21466)

武田洋幸 (理学系研究科生物科学専攻) htakeda@biol.s.u-tokyo.ac.jp (内線 24431)